

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2022年6月15日 第48期 No. 3-551

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

梅雨の季節らしく、降ったり、照ったりを繰り返しています。コロナもやっと落ち着いてきたようですが、後遺症がひどい人がいると報道されています。6日に開いた消費者の会の定例会で伺ったところ、出席者の中では家族も含めて罹患していないようでした。但し、和田の孫（松戸市在住）が軽いながらも6月初めからかかってしまいました。濃厚接触者である親は、今のところ大丈夫のようです。孫もほぼ治ったとのこと。

ほとんどのところで、団体活動が平常に戻りつつありますが、私達は他人と会うところ、電車に乗る場合などはまだマスクをつけましょう。

これからは熱中症にも気をつけてください。

## 我孫子市男女共同参画社会づくり講演会

### いくつになっても自分は自分

～次のステージに向かって～

日時 2022年6月25日（土）14:00～16:00

会場 あびこ市民プラザ ホール

（あびこショッピングプラザ ホール）

講師 柚木 理子さん（ゆき まさこ）

（元川村学園女子大学教授）

主催 あびこ女性会議・我孫子市

申込 我孫子市秘書広報課男女共同参画室

7185-1752

又はあびこ女性会議 090-6655-7988 佐竹さん

チラシを配布します。是非ご出席ください。

## 2022年 7月定例会

日時 7月4日（月）13:30～16:00

会場 我孫子南近隣センター8F 調理室

8月定例会はお休みです

お知らせは出すつもりです。

## 高齢社会への対応を探る会

### 7月の定例会

日時 7月20日（水）13:30～16:00

会場 アビスタ第二学習室

今年度のテーマ

**減らそう！超高齢社会の「不安」と「困りごと」**  
お知らせの発行日と重なり、詳細を紹介できないのですが、どなたでも参加できますのでどうぞ。

### デジタル教材作りに参加します

この2年間コロナウイルスの感染拡大により、対面での活動が学校でも社会でも困難になりました。

そんな中で、パソコンやスマホのネットを通して、離れていても話し合いのできるWEB（ウェブ）会議や、自分の都合の良い時間に視聴できるオンデマンドなどが盛んに活用されるようになりました。

学校では、小1から中3の子ども一人ひとりにタブレット端末が配布され、家や学校で活用できるようになりました。これがGIGA（ギガ）スクールです。これは人と人との関わりや対面ならではの人の育成にとって代わるものではありませんが、コロナ禍での対応のために、大きな社会の変革が起きていることは確かです。

さて、その波の影響を受けたのか受けなかったかはさておき、「美しい手賀沼を愛する市民の連合会（通称：美手連）の企画として「デジタル教材制作」を進めることになりました。美手連の参加団体がこれまでに蓄積してきた資料や経験をデジタル化して皆さんに、特に子ども達に活用してもらおうというものです。最終的には手賀沼及び流域に関心を持ってもらい、様々な体験を通して、

手賀沼に親しみ、環境保全に寄与してもらいたいと願っています。

このデジタル教材制作にあたって、「ちば環境再生基金助成金」に応募し、採択され、若干の資金を得ることができました。また、柏市も我孫子市も協力を申し出て下さり、行政の方にもきていただき、6月3日に第1回の説明会を開催することができました。

デジタル化の技術的な部分については、麗澤大学の地域連携を活用すれば、学生さんたちが一緒に考え、仕上げて下さるといってお話をいただき、大変心強く思っています。

我孫子市消費者の会としては、1981年に発行された「てがぬまをうつくしく」という絵本(発行:我孫子市、制作協力:我孫子市消費者の会)を基に現在の状況を入れて手直しし、紙芝居風に読み聞かせをする内容で制作することを考えています。

6月の定例会にお諮りしたところ、参加者の皆さんの賛同を得ることが出来ました。消費者の会としては、手賀沼を美しくするには、私たちの日頃の暮らしの仕方を考えようというのが趣旨です。現在、会員の佐藤祐子さんが現代版のシナリオを考えて下さっています。

それぞれの参加団体は、「文化」「環境」「暮らし」の各方面から企画をすることでしょう。著作権や個人情報の問題などクリアしなければいけない事項がありますが、頑張って進めていきたいと思います。(加藤記)

## 「畳語」「畳文」について

先月、会員の川上千里さんから届いた「畳語」について、裏面に載せました。とても面白かったと好評です。今月は「畳文」を裏面に印刷します。

川上さんからは、同じ字を3つ重ねたものも頂きましたが、森・品・轟(とどろく)晶(結晶)などの他は、一般にはあまり使われていません。頭の体操になりそうですね。

## 再び 食品ロスについて

千葉県環境経済部くらし安全推進室から、「食品ロスを出さないように協力を」という文書が届きました。

私たちの会は平成28年度(2016年度)千葉県・消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業として、この問題を取り上げました。多くの皆さんにご協力を頂き、アンケートを取り、栗原さん原案の「食品ロスを減らそう」という冷蔵庫に貼るマグネットを作り配布しました。

買い物に行く前に、冷蔵庫の中を点検して、無駄なものは買わない生活をしようということと、冷蔵庫を定期的に掃除して、見やすくしようという意味を持たせました。今でも実行していらっしゃるでしょうか?

県からの通知によると、食品ロスの数量は前年に比べて少し減ってはいるものの、残念ながら一人の出す量は大幅には減っていません。

消費者庁から県に、そして消費者団体にも食品ロスを減らして行こうと改めて呼びかけがあったということです。

日本は食糧自給率37%、6割を他国から輸入しています。それなのに、一人1日、130g、年間47kgの食品ロスを出しています。(2018年度)。世界を見渡せば十分な食事が出来ない国がまだまだあります。

改めて、一人一人ができることを実施して行きましょう。

## 健康食品に造反製品が見つかりました

千葉県に薬事審議会があり、消費者団体からも委員を派遣しています。今年は柏生活クラブの人。3月24日Webで審議会が開催されました。

元々、健康食品は効能や安全性などをきちんと調べたものではないから、飛びつかないように!と書いてきましたが、今回2製品から「品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第55条第2項違反」が見つかりました。いずれも強壮効果をうたったものでした。

～ ～ ～ ～ ～  
どうぞ皆様お元気で!!